



代表取締役  
林 裕二

Short Column

▼林社長が36歳の時に設立した『frontier』。独立した当初のことを伺うと、社長はこう語ってくれた。「万全を期して独立したつもりでしたが、やはり不安はありましたね。3期目を終えようとしている現在も不安というか、責任の重さのようなものは強く感じています。現在、協力してくださる人が20人くらいにまで増えたので、皆の生活を守らなくてはならないと考えると、いつも身が引き締まります」

▼とはいえ、常にナイーブなメンタルで事業を進めているわけではなく、経営における面白さのようなものも掴み始めているようだ。「社内でスタッフの意見が割れたりといった問題が起きることがありますよね。そんな時に私は『面白いな』と思うんです」と社長。そういった問題に対していかに対処するかを考え実践し、それが成功しても失敗しても、自身の大きな成長に繋がる——そう捉えているのだ。



株式会社 frontier

愛知県海部郡大治町鎌須賀川畔 28

ローズコート C101

URL : <https://www.frontier-work.com/>

たくさんの「繋がり」を構築しながら歩みを進め  
どこまでも成長していく内装のエキスパート集団

若いころから内装業界で経験を積んできた林社長が満を持して2021年にスタートした『frontier』。軽鉄工事や造作工事、ボード工事、床工事など様々なタイプの内装工事に対応している。人との繋がりを大事に歩み、高品質な仕事を納めながら人を見極める能力を養っていきたいという考えを持って事業を推進している社長のもとを本日はラッシャー板前氏が訪問。インタビューを行った。

「まず林社長の歩みから。愛知県名古屋出身です。学生時代はやらねちゃ、高校も中退することになりました。そのタイミングで、個人事業で内装業を手掛けていた父から「うちで働くか?」と言われ、父の下で働くことにしたのです。しかしそれから1年後、父は49歳の時に癌で亡くなってしまいました。家業に入ったばかりでまだまだ子どもだった私ではとても後継を継ぐことができません、父の仕事は畳むことに。ただ、継ぐことはできなかったものの「内装業をやりたい」「父の想いを継ぎたい」という意思はあったので、他所の会社で修業をすることにしましたのが17歳の話です。そこから数年の内装屋での勤めを経て2021年、36歳の時に独立し『frontier』を設立しました。商業施設から公共施設、民間企業や一般住宅まで建物の内装仕上げをメインに手掛けております。

——お父様の「想い」を継ぐことはできたのでしょうか。

父は、事業を法人にしようと考えていたのですが、そんな矢先に癌が見つかり、ついにはそれを実現することができませんでした。父の想いを継ぐことはできたのかなと思います。また母は現在70歳なのですが、「母に、私が法人の代表として活躍するところを見せたい」という思いも、ここまでやってこられたモチベーションの一つでしたね。

——ご立派です。36歳の時に独立されたとのことですが、修業期間は長めにとられたのですか。

もちろん、もっと早く独立することも可能ではあったのですが、私自身「繋がり」を重んじるタイプでして、独立後成功できるかどうかは、いかに繋がりという基盤があるか、とはいえ、できれば裏切られたくはありませぬから、もっと多くの人との出会いを得て、人を見極める力を養っていきたいと思っています。

——そんな力を身につけることができたから、経営者として大きなアドバンテージになることでしょうか。では、従業員さんに対して「大事にしてほしい」と思っていることは何でしょうか。

やはり現場作業では焦りが出してしまうことがあり、そうすると失敗することも増えてくるもの。ですから「身近なことからコツコツと、そしてしっかりとこなしてほしい」と伝えています。またその一方で、「ミスをおそれてほしくない」とも思っています。そして、たとえ失敗しても最後には私がカバーするから大丈夫。そのことを踏まえた上で、甘えずにしっかりと仕事をしてほしいですね。このさじ加減が難しいわけでは

あるかという部分が特に重要になると思っ  
ていましたから、その構築に時間をかけて  
いたのです。そんな中で、結婚1年目で子  
どもができたこともきっかけになり、「も  
う少し家族に良い生活をさせてあげたい  
な」と思って独立に至りました。

——社長がお仕事の上で大切にしておられ  
ることは何でしょうか。

繰り返しになりますが、やはり「繋がり」  
ですね。繋がりを広げていきたいという思  
いは、独立前と変わっていません。現場に  
は私より一回り上の人もたくさんいらっ  
しゃいます。そんな方々は私より経験が断  
然豊富じゃないですか。そのような方に  
甘えさせていただき、色々なことを教えて  
もらい、協力させていただくことで信用を  
築いていくことはとても大事。そういう姿  
勢を持って歩んできたからこそ、今がある  
と思っています。繋がりを築く上では人か  
ら裏切られることもありませんが、それも一  
つの経験ですし、向こうも本意ではなかつ  
ただろうとポジティブに受け止めること  
で、私はすぐに立ち直れます。

——社長は実に前向きな方ですね。  
人に裏切られたからといって、一切人を  
信用しないというのも無理がありますか

が、そういった中でこそスタッフの責任感  
は育つのだと思っています。そのようにし  
て、私と同等かそれ以上の仕事をできる人  
を育て、会社としてできることを増やして  
いきたい。やはり、私一人の力なんてたか  
が知れていますからね。

——最後に、これからの夢や目標をお聞か  
せください。

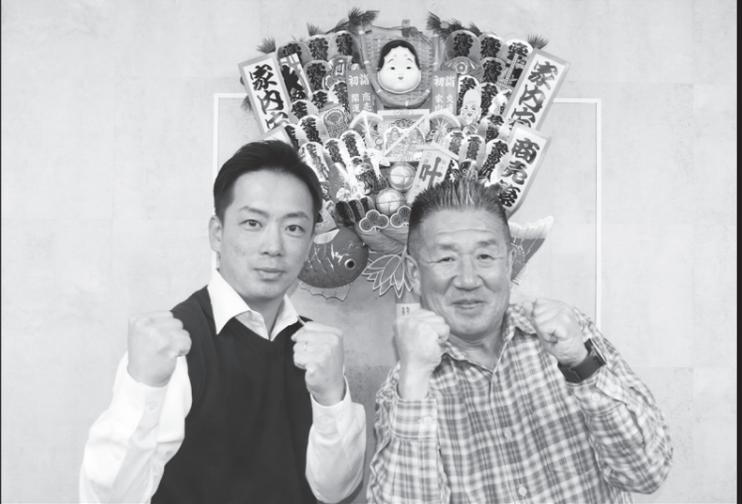
来年くらいから新規事業をスタートさせ  
る予定なんです。実は妻が元々犬のトリ  
マーの仕事をしていたのですが、今は子ど  
もが3人いるので育児をしながらパートを  
している状態。そんな妻にも独立心がある  
ので、まずはそこを支援したいと考えてい  
ます。そして、当社としては5〜10年掛け  
て人材を育てていき、その先で会社を任せ  
られるような人材が出てきてくれれば嬉し  
いですね。それが達成できた後も弛まず、  
事業を成長に導いていく構えです。



タレント  
ラッシャー板前

「『繋がり』を何よりも大事にされてい  
る社長。対談を通して、どんな人にも  
真正面から向き合っておられて、裏表  
のなさそうな人だという印象を抱きま  
した。とても話やすく、人と良い関  
係性を築くことが得意なのだろうと想  
像できました。まだ『frontier』さんは  
スタートから間もない企業ですが、社  
長なら同社をここからさらに大きな成  
長に導けるとおもいますよ」

ラッシャー板前：談



「『繋がり』を何よりも大事にされてい  
る社長。対談を通して、どんな人にも  
真正面から向き合っておられて、裏表  
のなさそうな人だという印象を抱きま  
した。とても話やすく、人と良い関  
係性を築くことが得意なのだろうと想  
像できました。まだ『frontier』さんは  
スタートから間もない企業ですが、社  
長なら同社をここからさらに大きな成  
長に導けるとおもいますよ」

ラッシャー板前：談